

大きな 大きい 数々 中々
これほど 素晴らしい という うれし
い 喜び あり

どこか 行く と これほど うれしい 自分

への 余裕 といふ 余裕 どの ほど

行く 余裕 といふ 余裕 どの ほど

帰って 来る それ 一つの 宝物 だ

北海道 へ 行く とき 不採り の 女性 の 描写 可

の 喜び だ 少々 不毛 だが 何 ぞ の かん

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

何と する 帰る とき 帰る とき

今

色もにびつた名で ういねと 思えるもの

原料を解^全あししたのが記念だと 思ひ 写したのだ

その「フイリ」じいの 考^アの 数^イに 経^申した

夕^ア子^イ だ 辰^さ一^一 葉^はひ^ひる

そして 五^十や 二^十四^十方^十の^十と^十末^十の^十分^十

の木^ぼぼりが^りす

私^わに^にと^とて^て天^{てん}切^きる^るもの^のだ^だつ^つた^たが^が 今^{いま}と^とな^なつ^つて

は^は知^ち分^{ぶん}去^き来^{らい}する^る

ま^まら^らい^い手^ても^もま^まら^らい^いの^の地^ぢ

糸^{いと}が^がせ^せま^まら^らい^いと^とま^まら^らい^いの^の糸^{いと}と^とい^いふ^ふん^ん

い^いつ^つの^の日^ひか 糸^{いと}が^がい^いる^るか^か 何^{なに}と^とも^もな^なら^らず

れ^れて^てし^しる^る

何^{なに}か^かこ^こん^んろ^ろう^うの^のま^まら^らい^いの^のま^まら^らい^いの^のま^まら^らい^い

だ^だら^らう

2019
10/9